作成日: 2017/05/16
改訂日: 2024/08/08

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :
製品名称 : カテコール
SDS No. : 1476-5
推奨用途及び使用上の制限
試験研究用
供給者の会社名称、住所及び電話番号
供給者の会社名称 : キシダ化学株式会社
住所 : 大阪市中央区本町橋3-1
担当部署 : 化学品安全管理統括部
電話番号 : (06)6946-8061
FAX : (06)6946-1607

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素
GHS分類
健康に対する有害性
急性毒性(経口):区分 3
急性毒性(経皮):区分 3
皮膚腐食性/刺激性:区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1
皮膚感作性:区分 1
生殖細胞変異原性:区分 2
発がん性:区分 1B
生殖毒性:区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1(中枢神経系)
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(気道刺激性)
環境有害性
水生環境有害性　短期(急性):区分 2
(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない
GHSラベル要素

注意喚起語:危険
危険有害性情報
H301 飲み込むと有毒
H311 皮膚に接触すると有毒
H315 皮膚刺激
H318 重篤な眼の損傷
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H350 発がんのおそれ
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

H370 臓器の障害（中枢神経系）
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H401 水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P264 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
P280 保護手袋/保護衣を着用すること。
P280 保護手袋を着用すること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。
P280 指定された個人用保護具を使用すること。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
P310 直ちに医師に連絡すること。
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
P361 + P364 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P330 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
P301 + P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

貯蔵

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の健康有害性

「11. 有害性情報」も参照のこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

化学物質

成分名	成分名[別名]	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化学式
カテコール	ピロカテコール	99(min)	120-80-9	3-543	C6H4(OH)2

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分
該当
安衛法「表示すべき有害物」該当成分
該当
安衛法「通知すべき有害物」該当成分
該当
化管法「第1種指定化学物質」該当成分
該当

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
「10.安定性及び反応性」も参照のこと。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防炎服を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。
回収が終わるまで充分な換気を行う。
作業の際には適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地、河川等への流出を防止する。漏れ出した物質が適切に処理されずに環境へ排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

（火災・爆発の防止）

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

（局所排気、全体換気）

排気/換気設備を設ける。

（注意事項）

皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。

接触回避

「10.安定性及び反応性」参照。

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。(P405)
直射日光を避け、換気の良い涼しい場所で保管すること。
遮光保存。
該当法規に従って保管すること。

安全な容器包装材料

破損や漏れのない密閉可能な容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度、濃度基準値データなし

許容濃度

ACGIH(1995) TWA: 5ppm (眼及び上気道刺激、皮膚炎)

[ACGIH] 特記事項

皮膚吸収

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

JIS・国家検定に適合した保護具の使用を推奨する。

厚生労働省の皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル等を参考に、該当法規に従った適切な保護具を選定し、使用すること。

呼吸用保護具

呼吸用保護具(防じんマスク・防毒マスクなど)を着用すること。防毒マスクを使用する際はガスの種類に対応した吸収缶を選定すること。

手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用すること。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。ガスが発生する場合はゴーグルを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 結晶

色 : 無色または白色～微褐色

臭い : 特異臭

融点/凝固点 : 105℃

沸点又は初留点 : (カテコール)245.5℃

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点 : (カテコール)(C.C.) 127℃

自然発火点 : (カテコール)510℃

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度 : 43 g/100 ml

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow0.88

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度 : 1.3

相対ガス密度(空気=1) : 3.8

粒子特性データなし
その他のデータ
その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし
化学的安定性
空気および光に曝露すると茶色になる。(ICSC 0411)
危険有害反応可能性
燃焼すると、有毒なフュームを生成する。酸化剤と激しく反応する。火災や爆発の危険を生じる。(ICSC 0411)
避けるべき条件
混触危険物質との接触。
火源との接触。
混触危険物質
酸化性物質
危険有害な分解生成物
炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[製品]
区分 3, 飲み込むと有毒
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
rat LD50=260mg/kg (NITE初期リスク評価書 Ver.1.0 No.145, 2008)
急性毒性(経皮)
[製品]
区分 3, 皮膚に接触すると有毒
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
rat LD50=600mg/kg (NITE初期リスク評価書, 2008)
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[製品]
区分 2, 皮膚刺激
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
ラビット 中等度の刺激性 (NITE初期リスク評価書 Ver.1.0 No.145, 2008)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分 1, 重篤な眼の損傷
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
ラビット 重度の刺激性 (NITE初期リスク評価書 Ver.1.0 No.145, 2008)

呼吸器感作性又は皮膚感作性
皮膚感作性
[製品]
区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
cat. 1; NITE初期リスク評価書 ver.1.0 No.145, 2008
生殖細胞変異原性
[製品]
区分 2, 遺伝性疾患のおそれの疑い
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
cat. 2; NITE初期リスク評価書 ver.1.0 No.145, 2008
発がん性
[製品]
区分 1B, 発がんのおそれ
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
cat.1B; EU Carc. 1B (EU CLP, Accessed Oct. 2021)
[IARC]
Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
[ACGIH]
A3(1995) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
[日本産衛学会]
第2群B:ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
[EU]
Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質
生殖毒性
[製品]
区分 2, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
cat. 2; NITE初期リスク評価書 ver.1.0 No.145, 2008
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 1, 臓器の障害
区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
中枢神経系 (環境省リスク評価第2巻, 2003; NITE初期リスク評価書 Ver.1.0 No.145, 2008)
[区分3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]
気道刺激性 (環境省リスク評価第2巻, 2003, PATTY 5th, 2001)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 2, 水生生物に毒性

[成分データ]

水生環境有害性　短期(急性)

[日本公表根拠データ]

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=1.66mg/L/24hr (NITE初期リスク評価書, 2008)

水溶解度

43 g/100 ml (ICSC, 1997)

残留性・分解性

[成分データ]

BODによる分解度:83% (既存点検)

生体蓄積性

[成分データ]

log Kow=0.88 (PHYSPROP DB, 2009)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 2811

正式輸送名 :

その他の毒物、固体、有機物、N.O.S.

分類または区分 : 6.1

容器等級 : III

指針番号: 154

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 2811

正式輸送名 :

その他の毒物、固体、有機物、N.O.S.

分類または区分 : 6.1

容器等級 : III

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 2811

正式輸送名 :

その他の毒物、固体、有機物、N.O.S.

分類または区分 : 6.1

危険性ラベル : Toxic
容器等級 : III
環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法
毒物類 毒物 分類6 区分6.1
航空法
毒物類 毒物 分類6 区分6.1

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
劇物(令第2条)
該当(法令番号 83の2)
労働安全衛生法
特化則 特定化学物質(第1類・第2類・第3類)に該当しない
有機則 有機溶剤等(第1種・第2種・第3種)に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
該当
名称通知危険/有害物
該当
皮膚等障害化学物質 (規則第594条の2)
該当
化学物質管理促進(PRTR)法
第1種指定化学物質
ピロカテコール(別名カテコール)[該当(管理番号343)]
消防法
届出を要する消防活動阻害物質
危険物の規制に関する政令別表第2:劇物(数量 200kg)
カテコール
化審法
優先評価化学物質
該当
大気汚染防止法
有害大気汚染物質
該当

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)
IATA 航空危険物規則書 第65版 (2024年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019
2023 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information

責任の限定について

安全データシート(SDS)はキシダ化学株式会社の著作物です。
本製品を販売または譲渡する際は、販売先または譲渡先にSDSの提供をお願いします。
全ての化学品は未知の危険有害性を有する可能性がございますので、取扱いには十分にご注意ください。
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和4年度（2022年度））です。